

北海道 道東エリアで初導入！ 道東の森総合病院で「スマート脳ドック」が受診可能に！

病院やクリニックのDX推進をサポートするスマートスキャン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：濱野斗百礼、以下、スマートスキャン）は、医療施設におけるMRI未稼働時間を利用して脳ドック健診を行う「MRIシェアリングエコノミーモデル」を構築、全国の医療施設に案内を行っています。

この度、社会医療法人明生会 道東の森総合病院（北海道北見市、病院長：櫻井渉）が、北海道道東エリアで初めて「スマート脳ドック」を導入しました。検査提供日は月・水・金曜日の14:00から16:00までです。（予約可能日時は変更になる場合もあります。ご予約の際はスマート脳ドックサイトから「道東の森総合病院」のページからご確認ください。）

道東の森総合病院が初導入
北海道道東エリアで
スマート脳ドックの受診が可能になりました！

健やかな人生を楽しむために

 スマート脳ドック

累計10万人以上が
受診した脳ドック



<https://smartdock.jp/clinic/mei-doutou>

■社会医療法人明生会 道東の森総合病院 櫻井渉病院長のコメント

脳卒中や脳腫瘍は、発症してからでは治療やリハビリが困難であったり、救命できたとしても重い後遺症を残したり、場合によっては命を落とすことになる疾患です。

これまで当院では、地域の方々が脳の疾患によってつらい思いをしたり生活に大きな負担を強いられるような状況にならないよう、脳の異常がないかを見つけてもらう目的で、当院独自の脳ドックを行ってまいりました。

脳ドックも含めた健診・検診をはじめ、高血圧や糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病予防の啓発等によって、ある程度の発症予防は進んできていると考えています。しかし、まだまだ脳卒中や脳腫瘍



を発症される方は後を絶ちません。

今回、脳ドックをより多くの方に気軽に受診していただきたいと、「脳卒中発症予防、脳の異常早期発見のパートナー」としてスマート脳ドックを導入、提供していくこととしました。

普段から「病気にかかりたい」「手術を受けたい」と思っている人は一人もいないと思います。当院は病気に対する最善の治療を提案・提供することはもちろんですが、「病気になってから行く場所」から、「病気にならないために行く場所」を目指してまいります。地域の方々一人ひとりに寄り添い、健康管理をご提案できるようさらに環境を整えてまいりますので、お気軽にご相談ください。

【施設概要】

- ・医療施設名：社会医療法人明生会 道東の森総合病院
- ・住所：北海道北見市美山町東 2-68-9
- ・診療科目：総合内科、脳神経外科、心療内科・精神科、整形外科、乳腺外科、内視鏡センター、外科、脊椎・脊髄外来、物忘れ外来、てんかん外来、リハビリテーション科
- ・URL：<https://www.mei-doutou.jp/>

■「スマート脳ドック」の特長

「スマート脳ドック」は、脳動脈瘤や脳梗塞、脳腫瘍などの自覚症状のない脳の異常を早期発見できる頭部 MRI および頭部・頸部 MRA の検査です。WEB で予約と問診票の事前登録を行い、検査結果をパソコンやスマートフォンで確認できるため、受付からお帰りまで 30 分と医療施設での滞在時間を短縮しました。撮像されたデータは、放射線科診断専門医と脳神経外科専門医がダブルチェックを行い、受診から 1 週間以内に受診者のマイページへ結果を公開しています。

万が一異常が確認された際も、検査施設の専門診療科での精密検査や地域医療連携で専門医を紹介するなど、治療につなげています。

2018 年 1 月からサービスを開始しこれまでの累計受診者数は 10.6 万人を超えました（2018 年 1 月～2023 年 12 月末実績）。また、受診施設は 31 都道府県 145 施設（1 月 24 日現在）まで拡大しました。北海道内では道央エリアで 3 施設、道東エリアでは道東の森総合病院が導入し、合計 4 施設で「スマート脳ドック」を受診することができます。

- ・「スマート脳ドック」サイト <https://smartdock.jp/>

■MRI シェアリングエコノミーモデルについて

日本は、人口当たりの MRI の保有台数は世界一です（*1）。その利用実績には、地域差や施設差、医師数に関係しており、採算面や臨床面でもその活用については検討が必要とされています。

スマートスキャンが提供する MRI シェアリングエコノミーモデルは、医療施設が保有する MRI の未稼働時間を活用し「スマート脳ドック」を提供する仕組みです。

医療施設にとっては予約獲得や撮像画像データの読影などに手間をかけることなく脳ドックを実施でき、MRI の稼働率と採算性を上げることができます。総合病院をはじめこれまで脳ドックが行われていなかった整形外科や乳腺内科でも脳ドックが実施されています。

[*1：OECD health care activities 2019]

■スマートスキャン株式会社について

「病気になるない世界」の実現に向け、誰もが気軽に受診できる画像診断の環境づくりをすすめています。「スマート脳ドック」サービスをはじめとする事業を通じ、多くの方が健康に暮らせる時間の創出に貢献していきます。

【スマートスキャン株式会社概要】

- ・社名：スマートスキャン株式会社
- ・設立：2017年2月
- ・所在地：東京都中央区日本橋人形町 2-14-6 セルバ人形町 2階
- ・代表取締役：濱野斗百礼
- ・事業概要：医療プラットフォームサービス「スマート脳ドック」運営、MRI シェアリングエコノミーサービス参加医療施設の「スマート脳ドック」導入と運営サポート事業、クリニックプロデュース事業、パーソナルヘルスケアレコード（PHR）の収集・解析による新規事業
- ・URL：<https://smartsan.co.jp/>

スマートスキャンでは、「スマート脳ドック」シェアリングエコノミーモデル導入を希望される医療施設、福利厚生などで「スマート脳ドック」のご導入を検討される法人さまからのご相談を受け付けております。

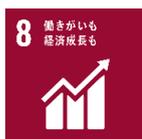
ご興味のある方は、お問い合わせください。

- ・医療施設関係者の方：<https://smartdock.jp/contact-clinic/>
- ・法人関係者の方：<https://smartdock.jp/sales-support/form>

スマートスキャンはSDGsを推進しています。



目標 3：すべての人に健康と福祉を
「病気のない世界を作る」を企業理念に、「スマート脳ドック」サービスをはじめとする事業を展開。これにより、疾患の早期発見と治療を可能にし、人々の健康に対する意識向上と予防医療に寄与していく。



目標 8：働きがいも経済成長も
企業の持続的な成長と利益の実現のために、従業員の生産性や帰属意識向上のために健康を第一に考え、働きがいと企業の成長に寄与する。また、すべての人が受けやすい健診環境を整える事業を展開し、社会全体の活性化を目指す。



目標 11：住み続けられるまちづくりを
ITの力によって、高度医療機器のシェアリングエコノミーモデルを可能にし、脳ドックを手軽に受診出来る環境を整えていきます。また、医療資源の地域格差を解消し、安心して住み続けられるよう地方創生に貢献します。



目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう
医師や医療施設、個人や企業・団体などと幅広くパートナーシップを築くとともに、オープンイノベーションや産学連携などによって、人々や社会のウェルビーイングを守ります。

■本件に関するお問い合わせ先

スマートスキャン株式会社 広報担当
e-mail：press@smartsan.co.jp